

News Release

2022年4月19日

太陽誘電:ESG インデックスの 「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」に採用

太陽誘電株式会社(代表取締役社長:登坂 正一、本社:東京都中央区)は、このたび FTSE Blossom Japan Sector Relative Index の構成銘柄となりました。

グローバルインデックスプロバイダーである FTSE Russell により構築された FTSE Blossom Japan Sector Relative Index は、各セクターにおいて相対的に、環境、社会、ガバナンス(ESG)の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスで、セクター・ニュートラルとなるよう設計されています。また低炭素経済への移行を促進するため、特に温室効果ガス排出量の多い企業については、TPI 経営品質スコアにより改善の取り組みが評価される企業のみを組み入れています。

なお、FTSE Blossom Japan Sector Relative Index は、年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)の ESG のバシブ運用ベンチマークとして採用されました。

太陽誘電は、ESG が経営における機会およびリスクになることを認識し、事業を通じて社会的課題を解決する活動を推進しています。近年、ESG を重視したサステナブルな企業活動への社会的要請が強まることを受け、昨年度よりスタートした「中期経営計画 2025」では、経済価値と社会価値を両輪とした企業価値向上を目指すため、ESG への取り組みに関して数値目標を掲げ、社会価値向上に向けた取り組みを加速しています。併せて、株主や顧客、市民社会などのステークホルダーとのエンゲージメント活動の推進、自社ホームページや統合報告書などによる情報開示の充実など、活動を強化しております。

今後も、ステークホルダーからの期待に応え、持続可能な社会への貢献と企業価値のさらなる向上に努めてまいります。

太陽誘電のサステナビリティ活動については、ホームページ上でも公開しております。

(<https://www.yuden.co.jp/jp/company/sustainability/>)

【参考情報】

<FTSE Blossom Japan Sector Relative Index>

<https://www.ftserussell.com/products/indices/blossom-japan>